



TRUSCO[®]

令和3年(2021)2月12日発表

証券コード 9830

(「苦は去れ」と覚えておいてください)

トラスコ中山株式会社

第58期 決算ダイジェスト

令和2年(2020)12月期

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 兼 経理部 部長 中山 達也
【本件問い合わせ先】経営企画部 経営企画・広報IR課 課長 下津 敦嗣／経営企画・広報IR課 平野 みのり
TEL: 03-3433-9840／MAIL: info@trusco.co.jp

【連結】経営成績

- ・令和2年10月29日に業績予想の修正を行いました。
- ・営業日数・・・前期:235日、当期:239日(営業日数は親単体の営業日数)

	令和元年(2019)12月期		令和2年(2020)12月期			
	実績	構成比(%)	実績	前年比	構成比(%)	予算比
売上高	2,206億74百万円	-	2,134億04百万円	△3.3%	-	+0.7%
売上総利益	470億34百万円	21.3	459億09百万円	△2.4%	21.5	△0.6%
販売費及び一般管理費	332億37百万円	15	348億91百万円	+5.0%	16.4	△0.7%
(うち減価償却費)	48億76百万円	2.2	65億65百万円	+34.6%	3.1	+1.7%
営業利益	137億97百万円	6.3	110億17百万円	△20.1%	5.2	△0.3%
経常利益	141億97百万円	6.4	115億59百万円	△18.6%	5.4	+1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	96億13百万円	4.4	80億07百万円	△16.7%	3.8	+2.0%
1株当たり当期純利益	145円78銭	-	121円43銭	△24円35銭	-	-
1株当たり配当金	36円50銭	-	30円50銭	△6円	-	-
PB売上高	438億90百万円	19.9	413億02百万円	△5.9%	19.4	△1.1%
設備投資額	197億21百万円	-	80億61百万円	△116億60百万円	-	-

販売セグメント別 実績

	令和元年(2019)12月期		令和2年(2020)12月期					
	売上高		売上高				売上総利益率	
販売ルート	実績	構成比	実績	構成比	前年比	予算比	実績	前年比
ファクトリールート	1,700億41百万円	77.1%	1,567億65百万円	73.4%	△7.8%	+0.7%	20.9%	+0.1pt
eビジネスルート	344億92百万円	15.6%	384億17百万円	18.0%	+11.4%	+0.4%	25.3%	+0.2pt
ホームセンタールート	147億03百万円	6.7%	169億92百万円	8.0%	+15.6%	+1.2%	17.6%	+0.1pt
海外ルート	14億37百万円	0.6%	12億28百万円	0.6%	△14.5%	+0.7%	32.0%	+3.5pt
全社合計	2,206億74百万円	100%	2,134億04百万円	100%	△3.3%	+0.7%	21.5%	+0.2pt

■ファクトリールート

緊急事態宣言後、消耗品は徐々に回復基調となったが、設備投資案件は引き続き停滞。

■eビジネスルート

BtoCの通販企業様への受注が増加し、依然として売上高は拡大傾向。

■ホームセンタールート

巣ごもり効果、仕入先変更による売上高増加、プロショップ様への売上拡大も継続。

■海外ルート

新型コロナウイルス感染症拡大により、売上減速が見られた。

■売上総利益 売上総利益率21.5% / 前年比+0.2pt ()前年比 ※コメントは親単体にて記載

NB商品粗利率:17.9%(+0.2pt)、PB商品粗利率36.4%(+0.6pt)

- ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、粗利率の高いマスクや手袋などの環境安全用品の売上高が増加。
- ②高粗利率のeビジネスルートの売上高増加(前年比+11.4%、粗利率25.3%)により、全体の売上総利益率が改善。

■単体実績

	トラスコ中山 親単体		トラスコナカヤマ タイランド		トラスコナカヤマ インドネシア	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	2,132億05百万円	△ 3.2%	5億73百万円	△ 23.8%	2億06百万円	△ 20.4%
売上総利益	457億33百万円	△ 2.4%	1億27百万円	△ 29.4%	44百万円	△ 30.7%
売上総利益率(%)	21.5	+0.2pt	22.3	△1.7pt	21.5	△3.2pt
販売費及び一般管理費	346億30百万円	+5.1%	1億47百万円	△ 6.7%	1億17百万円	△ 18.4%
うち、減価償却費	64億95百万円	+35.3%	28百万円	△ 7.3%	41百万円	△ 5.6%
営業利益	111億02百万円	△ 20.2%	△19百万円	—	△73百万円	—
経常利益	116億35百万円	△ 18.7%	△19百万円	—	△67百万円	—
当期純利益	80億85百万円	△ 16.8%	△19百万円	—	△67百万円	—

海外子会社について

■第58期の概況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイでは非常事態宣言の再延長、インドネシアでも大規模社会制限の強化が実施されました。

工場の稼働停止や生産調整が行われ、売上高は低調に推移しました。

尚、第58期4月にトラスコナカヤマ インドネシアの現地法人社長、同期10月に担当役員、部長、第59期1月にトラスコナカヤマ タイランドの現地法人社長の交代を行いました。

■第59期の取組み

今後は得意先様との深耕をより深めるため、必要在庫の積み増しや通販企業様向けに商品データベースの整備、仕入先様の代理店権獲得等に取り組めます。

【連結】第58期 販売費及び一般管理費

348億91百万円（前年比+16億54百万円／+5.0%）主な内訳は下記

（）前年比

増加要因

(1) 減価償却費 65億65百万円(+34.6%／+16億89百万円)

①物流センター「プラネット東北」「プラネット南関東」建屋、物流機器等(+673百万円)

②基幹システム「パラダイス」リニューアル(+626百万円)

(2) 支払手数料 23億78百万円(+31.3%／+5億67百万円)

①システム関連保守点検費(+209百万円) ②新システム初期対応費用(+110百万円)

(3) 運賃荷造費 62億92百万円(+2.1%／+1億29百万円)

①通販企業様とのお取引増加により、ユーザー直送の出荷個数が11.6%増加 (+246百万円)

※ユーザー直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいています。

②備車(契約配達便)の減便、自社便の増便 (△191百万円)

減少要因

(1) 給与及び賞与121億07百万円(△2.6%／△3億26百万円)

①社員残業代(△443百万円)

【参考】一人当たり平均残業時間:14.9時間／月(前期末:24.6時間／月)

(2) 旅費及び交通費 4億85百万円(△18.1%／△1億07百万円)

①国内出張旅費(△60百万円) ②海外出張旅費(△27百万円)

令和3年(2021)12月期—第59期— 連結業績予想

	金額	率	前期実績	前期増減額	前年比
売上高	2,205億20百万円	-	2134億04百万円	+71億15百万円	+3.3%
売上総利益	477億20百万円	21.6%	459億09百万円	+18億10百万円	+3.9%
販売費及び一般管理費	352億50百万円	16.0%	348億91百万円	+3億58百万円	+1.0%
(うち減価償却費)	70億35百万円	3.2%	65億65百万円	+4億69百万円	+7.2%
営業利益	124億70百万円	5.7%	110億17百万円	+14億52百万円	+13.2%
経常利益	128億80百万円	5.8%	115億59百万円	+13億20百万円	+11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	88億70百万円	4.0%	80億07百万円	+8億62百万円	+10.8%
1株当たり当期純利益	134円51銭	-	121円43銭	+13円08銭	-
PB商品売上高	428億92百万円	-	413億02百万円	+15億90百万円	+3.9%

セグメント別業績予想

	売上高				売上総利益	
	金額	率	前期実績	前年比	率	前年比
ファクトリールート	1,586億78百万円	72.0%	1,567億65百万円	+1.2%	21.0%	+0.1%
eビジネスルート	430億97百万円	19.5%	384億17百万円	+12.2%	25.3%	±0.0%
ホームセンタールート	170億87百万円	7.7%	169億92百万円	+0.6%	17.7%	+0.1%
海外ルート	16億57百万円	0.8%	12億28百万円	+34.8%	30.3%	△1.7%
全社合計	2,205億20百万円	100%	2,134億04百万円	+3.3%	21.6%	+0.1%

【第59期 業績予想について】

- (1) 第59期 連結業績予想につきましては**増収増益を計画**しています。
- (2) 販管費については前期と**同水準で推移**することが見込まれます。
- (3) 設備投資費は**約55億円**(前年比△約25億円)を見込んでおります。

【連結】第59期 販売費及び一般管理費

TRUSCO®

352億50百万円（前年比+3億58百万円／+1.0%）主な内訳は下記

（ ）前年比

増加要因

(1) 減価償却費 70億35百万円(+7.2%／+4億69百万円)

- ①物流センター「プラネット南関東」建替え、物流機器等
- ②物流センター「プラネット東北」増築、物流機器等

(2) 運賃荷造費 64億04百万円(+1.8%／+1億12百万円)

- ①売上高増加による出荷個数増加予想
- ②通販企業様とのお取引増加により、ユーザー直送の出荷個数が増加予想
※ユーザー直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいています。

【参考】従業員給与及び賞与 121億15百万円(+0.1%／+8百万円)

- ①2021年度新入社員入社:43名(前年比△36名)

減少要因

(1) 借地借家料 3億53百万円(△36.1%／△1億99百万円)

- ①プラネット南関東の建替え工事期間中に賃借していた倉庫の解約

(2) 広告宣伝費 5億66百万円(△23.9%／△1億77百万円)

- ①株主優待制度の廃止

第59期 主な設備投資・トピックス

第59期設備投資額：約55億円

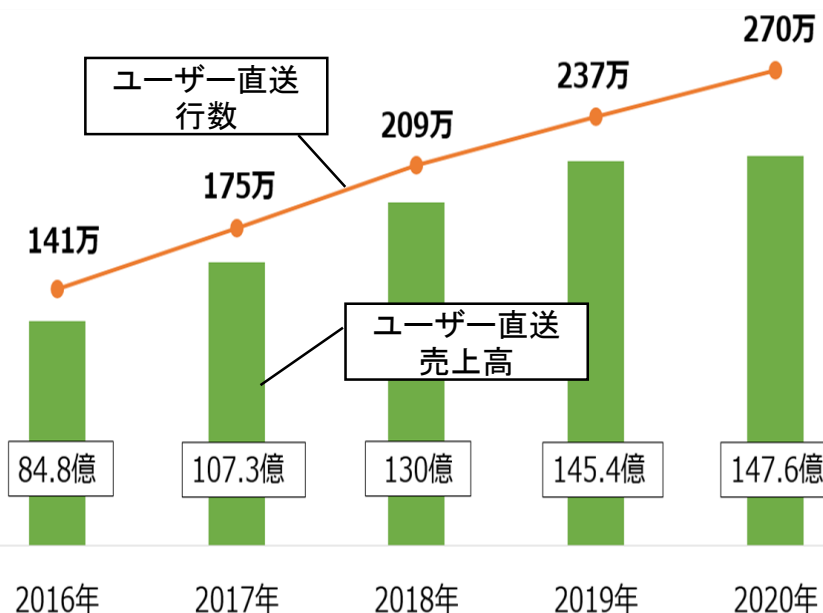
I-Packビジネスの拡大

・ネット通販企業様からのユーザー直送依頼が急増。
 ・業界全体の人手不足、ユーザー様からの納期短縮要請などを鑑みると、今後も件数は増加見込み。
 ⇒直送体制の強化が必須と考えています。

全国の物流センターからのユーザー直送

ユーザー直送行数 **270万行** (2016年比 +91.5%)

ユーザー直送売上高 **147.6億円** (2016年比 +74.1%)



今後の具体的な取り組み

■プラネット埼玉

I-Pack出荷能力の引き上げ

今期投資予定額：約5.8億円



設備名	設備数	
	現在	今後
① I-Packライン	2ライン	3ライン(+1)
② I-Pack用GAS	2台	6台(+4)
③ I-Pack作業場	10か所	19か所(+9)
④ 方面仕分けロボット	-	1基(+1)

各地での土地取得

1. プラネット愛知(仮称) 土地取得

■所在地：愛知県北名古屋市
 (北名古屋沖村西部土地区画整理事業地)

■敷地面積：12,595坪
 ■今期投資金額：約14.1億円
 ■総投資額：未定(計画中)

2. HC東日本物流センター 土地取得

■所在地：新潟県三条市福島新田
 ■敷地面積：7,986坪
 ■今期投資金額：約3.8億円 ■総投資額：未定(計画中)

■令和5年(2023)までに達成したい能力目標

- ①在庫50万アイテムの保有
- ②ユーザー直送システムの完備
- ③365日受注・出荷を実現

■当社の10年後のありたい姿

1. 在庫品のユーザー直送サービスを強化する。
2. 取り寄せ品のユーザー直送サービスを強化する。
3. 産業資材のネット購買支援システム「クロス(仮称)」の構築で商品検索機能を強化する。
4. 取扱商品をPRO TOOL以外にも拡大し、「販路拡大」「利便性向上」で更なる業容の拡大を目指す。
5. MROストッカーで究極の即納を実現し、MRO流通の定番を目指す。
6. 1品ごとの販売実績データ分析で「販売」「在庫」「格納」効率を上げる。
7. AIの活用により「商品検索」「納期・見積り」「商品説明・機能説明」のレベルアップを図る。
8. 同一商品の調達複層化をはかり、欠品率をゼロに近づける。